

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	「しあわせになる」という意味深い理念があります。	○	地域との関係を深めたうえで、見直し又は追加内容としていきたいです。
<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取組み 2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	「しあわせになる」という理念は、とても広範囲に理解が出来る内容の為、管理者・職員は漠然ととらえているかもしれません。	○	職員と話し合い、年度毎に一つの目標を掲げ、具体的内容にして取り組んでいきたいと思います。
<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	ご家族様には契約時に説明していますが、地域へは運営推進会議でお伝えしているだけです。	○	ご家族様向け便り・地域広報に理念を掲載し、具体的に取組んだ事を報告していきたいと思います。
2. 地域との支えあい			
<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	ゴミ出し・散歩・買い物などで、近隣の方々と挨拶を交わしています。道路の清掃を手伝ったり、手伝ってもらったり、又、除雪をして頂いたりしています。		
<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	地域で開催している盆踊りや総会に参加しながら、交流の機会と情報収集を行っています。	○	運営推進活動を通して、地域や老人クラブの行事や催し物に参加していきたいです。
<input type="checkbox"/> 事業者の力を活かした地域貢献 6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	地域の方からの相談には応じつつ、事業所・職員は現状を見定めて、出来る事に対応しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいる項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	全職員で自己評価を行う事で、自身の仕事の取り組みを見直す機会ともなり、新たな目標作りに活かしています。	○	改善項目を作成し、一つずつ取り組み質の向上をしていきたいです。
8 ○運営推進介護を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	事業所の現状・利用者様の状態を報告しながら、意見や情報をいただきながら改善策に活かしています。	○	幅広い会議参加メンバーとして行き、多方面の意見を拝聴したいと思います。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	市担当者には、運営上の質問や疑問について、相談しながら取り組んでいます。		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	地域権利擁護を利用している方がおり、担当者と連携をとりながら支援しています。	○	運営推進会議の議題として、成年後見制度や権利擁護について、勉強する機会がありました。それを活かし、職員の勉強会を行っていききたいと思います。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注を払い、防止に努めている。	虐待防止の外部研修に参加し、学ぶ機会を持ち、虐待防止を徹底しています。	○	虐待の報道があった時は、どうしたら防げるかの意見を交わし、問題意識を持つようにしています。
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約締結時に契約書・重要事項説明書をもとに、疑問や不安に思っている点を聞きながら、説明しています。解約についても、十分話し合いを重ね納得を得ています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様からの意見や不満等については、看護師・管理者・職員が話を聴き、情報の共有をし問題の改善やサービスの質向上に努めています。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	ご家族様へは毎月のお便りと、不定期ではありますが便りなどで日々の暮らしぶりや職員紹介をしています。 又、必要がある時は、電話にて報告しています。	○	1階廊下と各ユニット内に職員の写真などを掲載しています。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	各階に苦情箱が設置されていますが、使用されたことはありません。 そのため、ご家族様の訪問時に要望がないか聴くようにしています。	○	不満があった時は、申し送りやカンファレンスで話し合い、職員間で問題意識を持ち取り組んでいきたいと思っています。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	運営者・管理者は、全体会議やカンファレンスで職員の意見や提案を聞く機会を作っています。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	通院や行事など、必要に応じて職員配置をしています。 緊急時には、職員の了承のもと勤務変更をしたり、他ユニットからの助勤体制がとられています。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	職員の事情による離職は避ける事は出来ませんが、異動などは最小限にしています。 新人職員が馴染めるよう、他の職員が介入しながら利用者様へのダメージを防ぐようにしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	運営者・管理者は、外部研修参加を職員から希望を取りながら参加させています。	○	段階に応じた社内研修の実施を行い、職員が学びたい事や、知りたいと思っている事に結びつけていきたいです。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	市・同地区の管理者会議へ出席し、交流の機会を作り、勉強会等の活動参加により、質の向上に努めています。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	運営者は、面談や話を聴く事で交流を図っています。又、働きやすい環境となるよう見直しをしています。		
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	運営者は、勤務状況を把握しており、資格取得に向けた支援と研修参加の体制を取っています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	初期に利用者様ご本人より、求めている事はなかなか聴く事は出来ない事が多いです。話し合いを重ねながら、ご本人の不安を受け止めるようにしています。	○	今後もグループホームでの生活をお伝えし、不安を取り除きご本人の思いが出せるようにしていきたいと思います。
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	相談に来られた時に、状況や困っている点・要望を聴き、事業所として出来る事・出来ない事をお伝えしています。	○	初回からの相談内容を記録に残し、情報の活用に役立てています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人・ご家族様の相談内容によっては、他機関への紹介などしています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	ご本人様も不安のまま生活が始まることを思い、馴染の物が使えるよう、ご家族様にもご協力いただいています。 又、以前の生活様式の情報を活用しながら、介入の度合いを見極めています。	○	利用前には、必ずご本人様に施設をご見学して頂くようにしています。 雰囲気や様子を肌で感じていただくことから始めています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	利用者様が出来る所は見守り、出来ない所は方法を教えたり、一緒にすることで支えています。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	利用者様が不安な時は、ご家族様と連絡をとり、お話が出来るよう協力を頂いています。又、行事にご家族様にも参加してもらい、一緒に楽しめるようにしています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	入居前にご本人様・ご家族様との関係についての情報収集は行いますが、全てがわかる訳ではありません。 関係をみながら、又、ご家族様からの申し出に合わせ対応していることもあります。		外出や外泊には柔軟に対応し、ご家族様と過ごす時間が持てるようにしています。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	面会時間の制限を設けておらず、友人・知人に自由に会うことが出来ます。 希望がある時は、外出が出来るよう支援しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	仲の良い利用者様同士が互いに訪室しあい、お話されています。 一人になりたい時は、ご本人の希望が叶うようにしていますが、利用者様の様子を見ながら、話し掛けたり居間へお誘いするなどしています。	○	利用者様同士の助け合いが、全体的になるようにしていきたいと思ます。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退去した後もお見舞いに行ったり、その後の様子を把握するようにしています。	○	退去後、ご家族様から「遊びに行きたいと思ってた」と言うことがありましたので、行事のお誘いなどして行きたいと思ます。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	普段のちょっとした会話の内容や、目の動き、行動を良く見て、一人ひとりの思いや要望の把握に努めています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	生活して行く過程で、気になる事はご家族様に聞くようにしています。 その事で利用者様の意図することが理解出来たりしています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	利用者様一人ひとりの能力や心身の状態を良く見て、その時々の様子に合わせた関わりが出来るよう、職員は情報を共有しながら対応するようにしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	利用者様には、日常の関わりの中で判断し、ご家族様には、暮らしぶりの様子を見てもらいながら、意見や要望がないかお聞きし、介護計画を作成しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	定期的な介護計画を作成していると共に、現状や病状による変化がある時は、見直しを行っています。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	利用者様の日々の様子は個人ケースに記録しています。申し送りで伝達するとともに、共有した情報をもとに介護計画の見直しに活かしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	利用者様の不安軽減の為、最短の入院日にしてもらうなど、ご家族様・病院の協力を得ながら対応しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	警察・消防・民生委員の方々には、必要を要する時はご協力下さるように働きかけをしています。	○	運営推進会議を利用しながら、より深い関係作りを行うとともに、地域資源の掘りおこしを行っていききたいと思います。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	利用者様の希望に応じて、訪問理美容サービスやヤクルト販売を利用しています。	○	これまで介護保険外のサービス活用を利用者様・ご家族様に聞いたことがないので、情報収集しながら、何が活用できるか考えて行きたいと思っています。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議に地域包括支援センターの職員が参加して下さり、成年後見制度や権利擁護等について意見をいただき、利用につなげています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入居時にかかりつけ医については、利用者様・ご家族様と相談の上、決めていきます。受診時にはご家族様へ様子を伝え、又、逆の時は要望を聴いて、担当医へお伝えしています。他医療機関を希望する時は、話し合いの上、受診につなげています。		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	物忘れ外来や心療内科、精神科などの担当医に、受診時や必要な時に相談し、指示をいただいています。		
45	○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護師に利用者様の状況を報告し、適切な指示を受けています。又、往診先の看護師にも不安に思うことは伝達し、情報を共有しながら支援しています。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時は情報提供すると共に、ご家族様と連携をとりながら、利用者様が困らないようにしています。又、早期退院に向けて医療機関と連絡をとりながら支援しています。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	かかりつけ医・ご家族様と、早い段階より話し合いながら、支援につなげています。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	重度化や終末期については、事業主・職員とも話し合いながら、現在のチーム体制として出来る範囲での支援に取り組んでいます。	○	往診体制の強化と、ターミナルケアに必要とする知識や心構えなどを学びながら連携体制作りを一つずつ取り組んでいきたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	これまでの生活環境(こだわりや好き嫌いなど)・支援内容や注意点などの情報を提供し、住替えに役立つようにしています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	利用者様を人生の先輩として、言葉使いや対応に気をつけています。又、職員も個人情報の取り扱いには注意しており、漏洩防止に努めています。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	利用者様の力量に合わせた自己決定が出来るように対応しています。(言葉で表せない人には手を握り返してもらったり、合図をもらうなど)		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1日の流れはあるが、利用者様の体調や気分配慮しながら、希望にそった対応をしています。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	服装・お化粧は、利用者様自身で決め、されている方もいます。支援が必要な方には、体調や気候を考え、本人の気持ちにそった支援をしています。理美容は本人・ご家族様の意向のもと、支援しています。		
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	一人ひとりの食事の好みに合わせ、一部のメニューを変えたり、量や大きさを調整し、食べやすく楽しめるようにしています。体調が良い時は、準備や後片付けなどされています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	病気に気をつけながら、一人ひとりの嗜好に合わせた飲み物、おやつの支援をしています。 タバコに関しても、希望があれば対応することができます。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄チェック表を使用し、利用者様の状況により、声かけ又は誘導をすることで、トイレでの排泄につなげています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	利用者様の体調や気分に加え、好みの湯温に合わせて、気持ちよく入浴出来るよう支援しています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	一日の生活リズムを整えながら、一人ひとりに合わせた休息や入床時間の対応をしています。(薬については、担当医に睡眠状況を報告しながら、翌日に影響しないようお願いします)		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	一人ひとりの力を活かして、家事や出来る事をお願いし、感謝の言葉を添えながら役割ある生活が送れるようにしています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族様と相談の上、少額のお金を持っている人もいます。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	天気や体調をみて、希望に添った対応を心掛けているが、職員体制によっては対応出来ないこともあります。	○	今年度は年間の行事計画として、毎月、買い物レク日を設けたが、インフルエンザ予防の為、実行することが出来なかったため、来年度は楽しめるよう工夫しながら実施していきたいです。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	ご家族様と温泉に行ったりしています。 又、ご家族様同伴の食事会の行事を計画していたが、インフルエンザ予防の為、実行出来ませんでした。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	電話をかけたい時や必要と思う時は、声をかけ、取次と話しやすいように支援しています。 又、年賀状の支援はしています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	訪問時間などは定めておらず、ご家族様の都合の良い時に訪ねていただいています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	運営者・職員は身体拘束の禁止事項については理解しています。 ベット柵を使用している方がいますが、寝返りや立ち上がる時に使うため、ご家族様の同意も得ています。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	ユニット扉の開閉毎に職員は声出しと確認をし、一人で出てしまうことがないように取り組んでいます。 夜間は防犯の為、玄関とユニット扉は施錠しています。		
67	○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	昼夜共に利用者様の様子がわかる所で記録などの業務をし、安全に配慮しています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	刃物・ハサミなど、利用者様の能力に合わせ使用できるようにしています。 ただし、危ない様子がある時には、ご家族様に報告しながら、徐々に管理させてもらっています。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	一人ひとりの事故を未然に防ぐために、気になる点は伝達し、見守りの強化をしながら、早目の介入をし防止に取り組んでいます。		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	年2回の応急手当を消防署の協力を得ながら実施しており、夜間の緊急対応についても、マニュアルに添って対応出来るようにしています。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	定期的な避難訓練を、色々なパターンにしながら実施しています。運営推進会議の議題としながら、協力が得られるよう働きかけています。		
72	○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	ご家族様に現状報告を行い、意見も聞きながら対応策をとっています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	一人ひとりの状況を把握しており、様子の変化が見られる時は、管理者・担当医に相談し、受診につなげています。又、ご家族様へ報告し、職員は記録・申し送りにて情報を共有しています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員は服薬内容を処方説明書にて確認し、理解しています。きちんと服用出来るよう、手渡し又は口の中への投薬介助を行い、薬変更や担当医の指示がある時は、バイタルチェックを増やし記録をみせ、確認をとっています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	水分や食材の工夫で、自然排便が出来るように対応しています。下剤の使用は、担当医と相談しながら定期的排便となるように取り組んでいます。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	口腔ケアの重要性を事業所研修又は、訪問衛生士の指導により理解しています。利用者様の力に応じた支援をしています。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	一人ひとりの一日の食事量・水分摂取量を記録し、嗜好や食べやすい形態も把握し対応しています。 又、摂取量の少ない方には、タイミングを見ながら勧めたり介助しています。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に対するマニュアルはあります。 今年度は新型インフルエンザ対策として、行政の情報をもとに職員に伝達しながら、手洗い・うがいなどで予防に努めています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	毎食後、調理器具等の漂泊と、チェック表を見ながら食器の消毒もしています。 食材はほぼ毎日配達されており、残っている物の点検もしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関前にプランター、ベンチを置き、親しみやすいようにしています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居間や廊下を、季節に合わせた飾り物で装飾しています。カーテンの開閉にて光の調整をし、居心地よく過ごせるようにしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	仲の良い利用者様同士でくつろぎながら過ごしているが、共用空間が狭く、一人になれる場所作りには苦慮しています。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	家具や小物など、利用者様の馴染の物を持ってきてもらい、安心して過ごせるようにしています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	換気扇と消臭剤を使用しながら、臭いに気をつけています。温度調節も温度・湿度計を確認し、利用者様の発汗や手足に触り、状況に応じた対応をしています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	必要箇所に手摺や補助棒が設置されています。それ以外でも必要となった時は取り付けをし、安全と自立への配慮をしています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	利用者様にわかりやすい表示をしながら、お互い暮らす上で混乱や失敗しないようにしています。		
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	玄関先にベンチやプランターを置き、楽しめるようにしています。春先のトマト・花植えは、利用者様と一緒にしています。	○	裏の畑に行くには、歩行の良い人しか行けず、花摘みは限られた人になっています。 通路整備をし花・野菜作りが出来るようにしていきたいです。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

毎年、外出行事として、いちご狩りに始まり、もみじ狩りで終わります。
季節毎の行事を大切にしながら、職員共々頑張っています。
今年度はインフルエンザの為、外出の機会がなく、利用者様から「今年には行かないの?」と、残念がる声がありました。
来年はご家族様はもちろん、地域の方の参加機会を多くした行事企画を考えながら、楽しみある日常が送れるようにしていきたいと思っています。